

支援学校トライやる/その後

◆青陽須磨支援学校のトライやるウィークに参加した当会員16人に対し、学校からの交通費と別に、初めて市教育委員会から謝礼（1日当り¥2000）が贈られました。次回以降も続けられます。
◆子どものサポートの様子を撮った写真9枚が学校から提供されました。子どもが独自に撮影することは許されていませんが、活動記録のために便宜を図っていただきました。一部を「わ」ホームページ/地域活動/須磨区会にアップしました。
◆学校からは「トライやるウィーク」総括レポートが区会長に届きました。これには私どもボランティアの感想文も含まれています。

ボランティア元年に思いを

区会長 細野恵久

◆20年前の1月17日、あの大震災のときシルバーカレッジに在籍していたのは2年生（1期生）と入学してまだ3か月の1年生（2期生）だけでした。この状態は翌年の4月に3期生を迎えるまで1年3か月にわたって続きました。その間に9か月の休校があり、また退校を余儀なくされた学生も少なくありませんでした。
◆どの学生も自宅の復旧問題を抱えていましたが、自主的に安否確認やグループ学習をおこない、個人あるいはグループで避難所に仮設住宅にと、進んで奉仕活動に取り組みました。ひたすら「再び学んで他のために」を実践したのです。この年はのちに日本の『ボランティア元年』と呼ばれましたが、当時はまだ「ボランティア」という言葉さえ耳新しい時代でした。在校生はボランティアとは何かを学びながら次第に活動を進化させ、8月には情報交換と相互援助のためのセンターを開設しました。
◆これらの体験を通じて得た自信はやがて別の形となって現れました。《グループわ》の立上げです。シルバーカレッジ最初の卒業生が生まれた、その年1997年の7月のことでした。《グループわ》は2004年に《NPOグループわ》に引き継がれて今日に到りました。体制は整い、活動分野もきわめて多彩となりました。しかし素朴ながらも真摯に「再び学んで他のために」を実践した創設時のころざしが本当に受け継がれているのでしょうか。震災20年の節目に当たり、ボランティア元年に思いを馳せていただきたいと思います。（当時2期生、1996年4月から1年間休学し、3期生として卒業）

ウォークラリー大会、第2回も大好評

◆10月26日（日）午前9時半、快晴の多井畑厄神さん駐車場に18チーム、55人が勢ぞろいしました。チームリーダーは須磨区会会員、メンバーは家族、友人など4人まで自由、あとは健康だけという条件です。受付順に2分間隔で奥須磨公園へスタート。コマ切れの地図をつなぎながら約3.5kmのコースを探りあて一巡してもどるのです。
◆途中12か所のチェックポイントをクリアし、しかも所要時間が基準値（これも伏せてある）にどれだけ近いかで得点が決まります。ゴール完了後、順位に従って全チームに賞品が渡され、最後に参加者の代表として堺理事長に感想を述べていただき、12時過ぎに解散しました。
◆アンケートでは1回目につづいて「よかった」「またやりたい」との声が多く寄せられ、4か月にわたる準備が実ったことが確かめられ、企画運営メンバー（写真）への何よりのねぎらいとなりました。



後列左から 細野恵久（福3・白川台）、山田喜義（福18・竜が台）、戸田貞雄（音17・神の谷）、畑瀬忠彦（園18・横尾）、中西次郎（美17・神の谷）
前列左から 吉田恵子（国18・北落合）、杉原心き子（生18・竜が台）、水上桂子（音17・多井畑）

順位 得点 チーム名 = メンバー（1人目がリーダー）

- ① 95 SC友が丘B = 菅田忠志・西原
- ② 94 新・マジック = 熊坂真佐子・古勝・政岡
- ③ 92 わ本部 = 田路義弘・塚・永野
- ④ 91 おんぶん17 = 神澤揆子・岡田・北川
- ⑤ 91 チームほのか = 吉本清二・吉本・柳谷
- ⑥ 91 あんだんて = 片岡桂子・山本・佐藤・片岡
- ⑦ 90 コスモス多井畑 = 中屋好生・中野・清酒・鷲尾
- ⑧ 88 ドラゴンズ = 川部忠夫・山田・岸野
- ⑨ 85 なお&ゆみ = 高津尚之・高月・高月
- ⑩ 84 プライユ = 今田 紘・片岡
- ⑪ 82 いるか = 足立 進・足立・黒田・岡田
- ⑫ 81 グループ10 = 柳川瀬淳一・江本・内藤
- ⑬ 78 SC友が丘A = 西尾孟三・山本
- ⑭ 75 じいじ = 根木義一・根木・矢野・矢野
- ⑮ 75 須磨の海 = 瀧本武司・内藤
- ⑯ 72 松風・村雨 = 瀧本雄子・藤本
- BB 71 はるちゃんチーム = 山下恵美子・山下・酒井・酒井
- ⑰ 69 花組 = 長谷川夕紀子・藤原・今村・榊



チーム「あんだんて」の皆さん

件名	金額
奥須磨公園使用料	132
安全祈願(多井畑厄神)	20,000
ボランティア保険	1,500
文具・印刷	1,484
チェックポイント用材料	1,205
コマ図ファイル配付	1,900
賞品・お茶	15,549
企画調査交通費	7,600
	49,370

◆大会開催のための費用は表の通り約5万円で、第1回の約4万円より1万円多くなりました。
◆理由は多井畑厄神での安全祈願お初穂料を前回の倍額2万円としたためです。駐車場、デスク、スタンプなど大会開催に不可欠な条件を快く提供していただいたことへの相応の謝礼と考えました。
◆その他の費用は節減または効率化し、一方、賞品は前回よりも広く行き渡るように配慮しました。

家族でウォークラリーに参加して 山下恵美子（食17・竜が台）
娘親子が札幌から帰省してきたのを機に初参加しました。始めは2歳半の孫（はるちゃん）連れでは無理かなと心配しました。が、スタンプやクイズを探す道すがらどんぐりや落ち葉を拾いながらとても楽しく歩けました。途中はるちゃんは転んで大泣きしたり、大きな道具のある広場に釘付けになって動かなくなったりしながらもほとんどの行程を元気に歩き通しました。一番歩けなかったのは日頃運動不足の私でした。無事に最後の厄神さんのスタンプを押してもらって、良かった！ 大幅に遅れてのゴールだったのにブービー賞まで頂いて！ お世話になった皆様、温かく見守って下さった皆様有難うございました。
はるちゃん親子はもう冬になっている札幌に帰ったらきっとまだまだ緑がいっぱいだった奥須磨公園のウォークラリーを思い出すでしょう。楽しい秋の一日となりました。



「はるちゃんチーム」 右端が山下さん

◆今年も10月25日(日)開催の予定。ウォークラリー大会は、奥須磨公園と多井畑厄神という環境条件に恵まれた須磨区会だからこそできるイベントです。幸い参加者にも喜んでもらっていますので引き続き実施します。